



えすでーじーず じつげん きょういくせいどかいかく
SDGsの実現は教育制度改革から

かいりじ とみたただかず
ちいろば会理事 富田忠一

2007年4月、これまでの「障害児教育」が法改正により「特別支援教育」という名称へ変更されました。対象も従来の障害児教育の対象であった視覚障害、聴覚障害、知的障害、肢体不自由及び病弱に加え、発達障害を有する児童、生徒も加わりました。発達障害については2005年4月の「発達障害者支援法」の施行以来、自閉症、その他の広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害など診断名の増加や診断機関が増加したことにより、受診すれば漏れなく何らかの診断名がつけられると云っても過言ではないような状況が生じています。平成20年から平成30年の10年間の統計でも、知的、自閉症・情緒障害の対象者児童、生徒の数は2.1倍にも膨れあがり、特別支援学校や特別支援学級で学ぶ子どもたちの数は留まるところを知りません。

この状況はある意味において、『これまで、見過ごされてきた何らかの配慮が必要な児童、生徒に対して「特別な支援」が提供されるようになった』という喜ばしい変化なのかもしれません。しかし、2014年に日本でも発効された障害者権利条約の第24条には、「障害者が障害に基づいて一般的な教育制度から排除されないこと及び障害のある児童が障害に基づいて無償のかつ義務的な初等教育から又は中等教育から排除されないこと。」とともに「障害者が、その効果的な教育を容易にするために必要な支援を一般的な教育制度の下で受けること。」が規定されています。世界的な障害児教育の流れは、障害の有無で分けない方向へ向かっています。にもかかわらず、この国の現状は「特別な支援」を必要とする子どもたちへの教育の殆どが、通常の学校や学級とは分けられた場所で実施されているのです。

障害者権利条約第24条に規定されているインクルーシブな教育とは、通常の学校や通常学級の中で「特別な支援」を必要とする個々の児童、生徒に対して、「合理的な配慮」を個別に行うことを規定しています。しかし、わが国における「特別支援教育」は「場を分けること」があたかも「特別な支援」であるかのような状況が継続しています。

障害に対する「合理的配慮」を一般化するためにも、分けた場所ではなく、ともに学ぶ通常学級の中で「特別な支援」(合理的配慮)が提供されることが何より重要です。そのためには、障害特性に応じた合理的配慮を提供できる教員の養成や相当数の教員配置、一学級の生徒数の削減、教材研究、教育課程の見直しなど、抜本的な教育制度改革が必要です。SDGs(持続可能な開発のために国連が定める17の国際目標)の4番目「すべての人に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する」の目標達成のためにも、わが国は早急に「ともに生きるための」教育制度改革を実行しなければならないのではないのでしょうか。

ふくしぎょうかい かか もんだい
～福祉業界が抱える問題～

グループホーム 主任 米田 守

福祉業界は少子高齢化に伴って介護職員の必要性がより高まり、この業界で働く人材が多く求められている現状です。実際の現場では利用者に接する職員の人数は充実していることが望めますが、現状はまったくその逆です。福祉の仕事を選択する人の数が増えていかない状況は非常に危機的な状況です。

高齢者福祉だけでなく障害・児童を含め福祉業界全体が人材不足の影響を受けてしまっています。職員数が足りないことにより、一人の職員にかかる仕事量の負担も増加し、そのハードさに離職してしまう人も少なくありません。まさに負のスパイラルになっているのです。有効求人倍率は3.9倍と全業種と比べて2倍以上も高く、人手不足が特に深刻です。人手不足に加え定着率の低さに多くの施設で頭を抱えているのが現状です。一人でも多くの人材が福祉業界に入ってくることを望みます。そのためにはこの業界に目を向け、もっと足を運んでもらえるように発信していかねばならないと考えます。それは学校を卒業して働きだす若者に限らず、これから転職しようと考えている人にも当てはまります。

ちいろば会でも同様で、いくら人材を募集してもほとんど応募がありません。特にグループホームの泊りを伴う夜間勤務となると敬遠されてしまうのか・・・?応募がないのが現実です。5月から新しいグループホーム すみれ荘 も稼働していますが、このような状況下では事業の運営にも影響を及ぼしかねません。いくらハード面が整っていても人材不足という問題を抱えています。

仕事に対するイメージはハードワークで給与が安いなど、悪いイメージだけが先行しているように思います。しかし実際の現場では給与も他の企業に比べても悪くはないと思いますし、週40時間勤務で残業時間もほとんどありません。こうした仕事の内容やなかみを知ってもらう、また新しい職員の方々には自分がこれまで経験してきたこと、やりがいや喜び、この仕事をしてきて自分が成長したてきたことなども伝える、失敗も辛いことかもしれませんが共に助け合いこの仕事を続けてきて良かったなあと考えるように、これまでの悪いイメージを払拭し、新たにこの業界に就こうとする若者や中途採用者の意欲をアップさせることが私たちの使命とも言えます。



みんな輝く



ちいろば園職員 辰己 真奈美

2021年4月 ちいろば園では新年度が始まり、
みんなの顔がどことなしか引き締まってみえる
のは、私 だけでしょうか？昨年から続くコロ
ナ禍の中で、楽しみにしていた恒例の行事がで

きず今までと違った 1 年を皆と共に過ごしてきて思うのは、そんな中でも『利用者主体』をめざし
て取り組んできた行事で、みんなの会の役員を中心にいろんな意見や考 えを出し合うことで、徐々
にみんなの顔が自信にあふれ生き生きとしてきているように思います。

5 月には、みんなの会の役員交代があります。やりたい人を募ったところ 7 人の枠に 11 人もの立
候補者が名乗りをあげてくれました。なんて頼もしいことでしょう。そうすると役員を選ぶために
は選挙になります。これもちいろば園では、初めての試みです。ポスターを貼り出し選挙演説を
して、投票してもらおう。11 人の候補者のみんなは、それぞれのやり方で演説をしました。すらす
らと自分の思いを伝えられる人ばかりではありません。支援者と一緒に自分の思いがみんなに届く
よう限られた日数で考 えて練習し、演説当日はテレビとパソコンを使い読み上げをする人。とに
かく自分の名前を売り込むために名前を連呼する人など熱い思いが伝わる演説でした。我こそは、
みんなの代表として頑張ろうと思っている人と、演説を聞いて他のみんなは、この人ならと
思う人を投票する。これこそまさに自分達でちいろば園を作って行こうと主体性がみえる一面だと
思いました。以前と比べてちいろば園に新しい風が吹いてきたなと感じます。

『利用者主体の事業所をつくる』私達

支援者は、どのように彼らと関わり支援
していくか課題でもあり、仕事をしてい
く上での醍醐味でもあります。

今日は、ちいろば園で何しようとか
ワクできる場所をつくる。

みんなの顔が自信にあふれ、生き生き

と輝いて毎日が送れるように柔軟な

考 えをもって日々取り組んでいきたい

と思います。



— 通所バスについて —

ちいろば園職員 新宮由士

皆さんご存知の通り、ちいろば園は障害をもつ人の通所施設です。通所手段は、ちいろば園の通所バス、ご家族の送迎、徒歩など様々ですが、多くの方は通所バスを利用しています。今回は、そんな通所バスについてお話をさせていただきます。



ちいろば園の通所バスには複数停留所があり、各々がその場所まであつまって、バスを待つという形をとっています。個々の家の前まで、送迎を行う施設もある中、ちいろば園は長年この形をとってきたのは理由があるのです。一見、不親切にみえるこのシステムですが、そこにはちいろば園の理念である「ともに生きる社会を創造する」が大きく関係します。皆さんの地域には障害をもつ人を見かける場面はよくあるでしょうか？中にはあまり見かけないという人もいるかもしれません。ドアtoドアの送迎は、地域社会との関わりが薄れてしまいます。ちいろば会が大切にしていることは、施設の中で活いきと過ごすことだけでなく、地域社会で活いきと暮らすことができるよう活動することです。

バスの停留所までくるには、家から歩いてこなければいけません。中には電車や公共のバスを利用して人もいます。その中で地域の人と関わりができます。障害をもつ人を知ってもらう機会ができるのです。時にはトラブルになることもあるでしょう。しかしそれも含め「ともに生きる社会」なのだと私たちは考えています。施設での日中活動を終えた帰りも同様、送りは停留所までです。まっすぐ家に帰らないで、友達同士で話し合ったり、買い物をしたり、好きな電車を見に行く利用者さんもいます。この前「小学生の同級生に会ってしゃべった。仕事がんばってた！」「幼稚園のこどもたちが手を振ってくれた」など話を聞くこともありました。

地域で障害がある人もない人も、ともに生きることが出来る社会を目指して今日もちいろば園の通所バスは走っています。



グループホーム しょくいん 職員 くぼ 窪 みよこ 美代子



A woman with short dark hair, wearing a white long-sleeved shirt and blue pants, is sitting cross-legged on a light-colored carpeted floor. She is looking down at her hands. In front of her is a small, square, light-colored mat. To her right is a large, dark-colored television set on a stand. The television screen shows a colorful image of a person. Behind the television is a whiteboard with some text and a red fire extinguisher mounted on the wall. The room has light-colored walls and a wooden door in the background.



初めてグループホームを利用される皆さんは、不安で いっぱいだと思
います。少しでもどんな生活を送ることになるのかを知ってもらい、
安心して生活してもらえるように帰宅から翌日ちいば園に行くまで
の予定を見てわかるようにピクトグラムを用いて作成をしました。
予定表に沿って行動してもらえるように 職員が統一した支援を行
い、毎日泊りの職員が変わっても、安定した生活ができ、安心して暮
らせるグループホームにしたいと思っています。

— ぼくも わたしも みんなが主役 ^{しゅやく} —

- 質問① ^{しつもん} 名前と年齢は？ ^{なまえ ねんれい}
- 質問② ^{しつもん} 家族にまつわるエピソードは？ ^{かぞく}
- 質問③ ^{しつもん} 学校時代のエピソード、または就労中のエピソードは？ ^{がっこうじだい しゅうろうちゅう}
- 質問④ ^{しつもん} 最近気になっていること、興味があることは？ ^{さいきん き きょうみ}

① 石川 徹 (50歳) です。

② 2008年1月にお母さんが、2018年11月にお父さんが病気で亡くなりました。
今は普段はグループホームで暮らしていますが、実家にはお父さんの再婚相手の新しいお母さんが居てくれます。

③ プラスチック容器の製造会社で10年間働いていました。
僕はその10年間ずっと、養護学校の実習に来ているのだと思っていました。そのことにお母さんが気付いて、2000年からちいろば園に通うことになりました。

④ アニメのキャラクターのフィギュアをコレクションしたり、グループホームで大人用の迷路を解いたりするのが好きです。

この間はテレビのクイズ番組に【d ボタン】で参加してみました。



① 吉村 公嘉 (49歳) です。

② お姉ちゃんのこどもと遊ぶのが好きです。

お姉ちゃんが少し遠くに引っ越しして、
姪っ子に会えないのが寂しいです。

③ 牧場で働いていました。朝早く起きなきゃいけないし、
牛のふんを運んでいたのですが、重たくて…重たくて…
とてもしんどかったので、辞めました。

④ 天王寺動物園に行きたいけど、コロナで行けないです。
コロナいつ終わるのかな？

① よしだようすけ ^{さい} 吉田陽亮 (34歳) です。

② かぞく ^{なか} 家族は仲が良く、^{りょこう} しょっちゅうみんなで旅行に行っていました。^{しんせき} 親戚
の ^{ひと} 人たちとも ^{ねん} 1年に ^{かい} 4回ぐらい集まって ^{あつ} 15人ぐらいで ^{にん} 一緒にご飯を
^た 食べています。^{とう} お父さんの ^{ともだち} 友達と ^{やまのぼ} 山登りにもよく行きました。

③ ^{ようちえん} 幼稚園の時から ^{とき} 一緒の仲の良い ^{なか} 友達が ^よ いたので ^{しょうがっこう} 小学校でも ^{たの} 楽しく ^す 過
ごせました。^{ねんせい} ただ ^{とき} 5年生の時の ^{おんがっかい} 音楽会の ^{れんしゅう} 練習は、^い じっとしているの
が ^{にがて} 苦手な ^{ちゅうがくぶ} ぼくには ^{とき} しんどかった ^{はじ} です。^{やきゅう} 中学部の時に ^み 初めて ^い 野球を ^{いま} 観に
行って、^す それから ^{せんしゅ} 野球が ^{おうえんか} 大好きになりました。^{うた} 今では ^{うた} 好きな ^{うた} 選手の
応援歌も歌えます。

④ ^{りょこう} コロナがおさまったら、^{はん} また旅行に行きたい ^た です。^い ご飯を ^{やきゅう} 食べに行っ
たり、^み 野球を ^い 観に行ったり、^{ふろや} お風呂屋さんにも ^い いきたい ^い です。



① いしはらしんや ^{さい} 石原慎也 (37歳) です。

② ^{あか} ぼくが ^{とき} 赤ちゃんの ^{とう} 時にお父さんは ^な 亡くなっています。^{ちい} 小さい ^{ころ} 頃は
^{おばあちゃん} おばあちゃんといろんな ^で ところに出かけました。^{ふたり} でも二人で ^{まいご} 迷子に
なってしまう ^{にい} こともありました。^い お兄ちゃんとは、よく ^{けんか} けんかをし
て ^ま 負けていたので、^{いま} 今でも ^{こわ} ちょっと怖い ^{にい} です。^こ けどお兄ちゃんが
^こ 子どもをつれて ^{あそ} 遊びに ^く 来ると ^い うれしい ^い です。

③ ^{しょうがっこう} 小学校の ^{ころ} 頃は ^{がっこう} 学校も ^{たの} 楽しかった ^{ひとり} けど、^で 一人で ^す 出かける ^す ことも ^す 好き
でした。^{みずあそ} 水遊びが ^す 好きだったので、^{まち} 町の ^い プールに ^{とお} 行ったり、^{とお} お父さ
んの ^{はか} お墓まで ^{ある} 歩いて ^い 行ってみたり ^{かえ} しました。^{みち} 帰り道が ^み わからなくな
った ^{きんじょ} ことも ^あ あった ^{きんじょ} けど、^{おばさん} 近所のおばさんや ^{おじさん} おじさんが、^み ぼくを見つ
けて ^{かあ} お母さんに ^し 知らせて ^{かあ} くれました。^{かあ} お母さんは ^い びっくり ^い していま
した。

④ ^{さいきん} 最近 ^{ある} は ^{ある} 歩く ^{ほう} より、^す ドライブ ^す の ^す 方が ^す 好き ^す です。^{じぶん} それと、^ゆ 自分 ^ゆ でお湯を
^わ 沸かして ^わ カップラーメン ^{つく} を ^た 作って ^す 食べる ^す ことも ^{かあ} 好き ^{かあ} です。^{かあ} お母さん
が ^ね 寝ている ^{あいだ} 間 ^た に ^た こっそり ^た 食べて ^た います。



☆^{こうえんかいひ}後援会費・^{ねんかんこうどりよう}ちいろばだより年間購読料 (2021年2月1日～2021年3月31日)

^{きょうりよく}ご協力ありがとうございます。

篠原範子、高見敏雄、菱田久美子、岡本啓子、田中廣子、松木ひろみ、あいのそのこども園、
大阪聖和教会、医)金泉会 金泉年郁

^{いじょう}以上 ^{けいしょう}敬称は略 ^{りやく}させていただきます

^{しんねんど}新年度 (2021年度) の^{ねんど}ちいろばだより^{ねんかんこうどりよう}年間購読料の^{きょうりよく}ご協力をお願いします。

^{こうどりよう}購読料の^{のうにゆう}納入は、^{てんぷ}添付の^{ゆうびんふりかえようし}郵便振替用紙にて^{ねが}お願いします。

ただし、^{さくねんどちゆう}昨年度途中 ^{すで}既に、^{こうえんかいひ}後援会費もしくは^{こうどりよう}購読料を^{のうにゆうず}納入済みの方々については、^{じゅうふく}重複
^{のうにゆう}しての^{けっこう}納入は結構です。^{ふりかえようし}振替用紙は次の^{つぎ}機会に^{きかい}ご使用ください。^{じゅうふく}重複のないよう^{ちゅうい}ご注意ください。



パンジーメディアから

ドキュメンタリー映画の案内です。

7 人の知的障害者がヒマラヤに挑んだ物語

7 人の知的障害者：

有光一仁/伊藤恭介/川西秀機/豊田瑛一/

菜嶋亮太/野々口文彦/山田 浩

監督：小川道幸 プロデューサー：林 淑美

自主上映会の開催・作品についての

お問い合わせはこちらまで

パンジーメディア

大阪府東大阪市中新開 2-10-16

Tel : 072-968-7151

Web: <https://www.pansymedia.com>

二〇〇〇年十二月十二日

第三種郵便物承認

毎月(一・二・三・四・五・六・七・八の日) 発行

KSKS ちいろばだより

編集人／ ちいろば会後援会

年 6 回 頒価 50 円

連絡先／ 奈良県生駒郡三郷町勢野北 5-6-14

TEL : 0745-72-1923 FAX : 0745-72-1924

発行人／ 関西障害者定期刊行物協会

大阪市天王寺区真田山町 2-2 東興ビル 4 F